

「市民公開セミナー 第6回多士講座」実施概要決定



今回で第6回目を迎える「市民公開セミナー多士講座」の実施概要が決定しました。
 平成23年4月16日(土) 熊本ホテルキャッスル2Fキャッスルホール。講師には裏千家今日庵15代前家元鵬雲斎千玄室氏。演題は未定。入場無料(但し入場整理券が必要)、入場整理券については来年以降に配布開始予定。
 千利休から連続と続く茶道裏千家の前家元であり、日本を代表する文化人として幅広い分野で全世界的に活躍されている千玄室氏。
 今回は多士講座の趣旨にご賛同いただき、また茶道裏千家淡交会熊本支部のご協力により、セミナー実現の運びとなりました。貴重なお話を拝聴するまたとない機会ですので、多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

〈利休居士第15代前家元「鵬雲斎 千玄室」氏プロフィール〉

大正12年、京都府生まれ。同志社大学卒業後、ハワイ大学修学、韓国中央大学大学院課程修了。昭和39年10月、裏千家第15代家元となり今日庵庵主として宗室を襲名。平成14年12月、嫡男千宗之に家元を譲座し、汎叟千玄室大宗匠。「一碗からピースフルネスを」の理念を提唱し、道・学・実をもって世界62か国を300回以上歴訪し、茶道文化の浸透・発展と世界平和の実現に向けた活動を展開している。現在、社団法人茶道裏千家淡交会名誉会長。平成17年外務省より日本・国連親善大使を委託される。平成22年には、国土交通省より観光親善大使を任命される。国際ロータリー日本財団会長、財団法人日本国際連合協会会長、中国芸術研究院芸術顧問、ハワイ大学歴史学部教授等100以上の公職、役職を持つ。紫綬褒章、藍綬褒章及文化功労者国家顕彰、勲二等旭日重光章、文化勲章を受章。茶道界初の文化勲章受章者として多方面に活躍されるなど、芸術文化の向上及び生涯学習、国際交流等の進展に大きく寄与されている。

来年4/16(土)
 ~入場無料~
 (要整理券)

費口濟

進文明 磨知後 振之書 重座恥 明大義 心倫理

キヅナ広がる各地区同窓会 熊本県内外・海外

創立128周年大同窓会~約950人が参加~
 キナセン談義~きなっせ、各地同窓会~
 濟々費歴史資料館への招待~三綱領、費舎変遷~
 戦地から生徒への手紙
 同窓会&多士会館の仕事
 学費トピックス~進学・総体・総文~
 青年会、多士講座 ほか



同窓会会報

2010年/平成22年/第26号
 編集・発行 濟々費同窓会
 〒860-0862 熊本市黒髪2丁目21番50号 財多士会館内
 電話096-345-3002 電096-346-3225

各地区同窓会へご登録下さい!
 各地在住で地区同窓会案内が欲しい方、このアドレスで氏名・卒年・住所や希望地区をご連絡下さい。該当する各地区に登録致します。同窓生であればどなたでも(学生も)大歓迎です。
 【共通メールアドレス】
 seiseikodosokai@gmail.com
 セイセイコードソカイ

129周年 大同窓会

129周年大同窓会が平成23年5月21日(土)熊本ホテルキャッスルにて開催されます。
 今回の幹事学年は平成22年卒業の同窓生です。先日行われた128周年大同窓会へスタッフ見習いとして多数参加し、より一層の結束を強めながら、同窓生の皆さんに楽しんでいただけるよう、準備にあたってまいります。
 年に一度の旧交を深め合う大同窓会へ、皆様のご参加をお待ちいたしております。



新費舎完成迫る

昨年10月より工事が始まった本費管理棟の完成となる8月が間近となりました。工事期間中ご迷惑をおかけ致しましたが、新費舎完成の折には是非一度足をお運び下さい。

■新費舎概要

- ・鉄筋コンクリート4階建て
- ・延べ床面積…2,168㎡
- ・エレベータ1基
- ・太陽光発電システム
- ・1階…校長室・事務室・保健室・応接室・カウンセラー室
- ・2階…職員室・放送室・面談室
- ・3階…進路指導室・生徒指導室・情報管理室・社会科資料室
- ・4階…会議室・屋上緑地
- ・1階には旧管理棟に展示されていたタイトル画を設置予定です。

毎年3月1日舉行される卒業式には同窓会幹事も出席します。県外在住の各地同窓会役員も後輩達の卒業の門出を祝うため、労を惜しまず帰郷。そのため前夜は年に一度、学業長らと県内外各地同窓会長・幹事らが一堂に会し交流出来る貴重な時間となります。集結した各地同窓会役員に現状やその思いを語ってもらいました。(今回は関西・福岡・鹿児島・広島・東海5地区)

●3委員会制にして年一回の総会を盛大に
昔は広島や名古屋、東海もテリトリーで古葉竹識君(S30卒)も関西の一員で現役監督時代は阪神広島戦がある日にあわせて同窓会をしつた時代もあります。今の名簿で分っている人数は800人強、学校関係情報を足すと9000~10000人ですが総会は200人位。今までは幹事長の手元でほとんどやっていましたが今年から委員会制度にした。常任幹事トップに総会実行・広報・組織の3つで手分けをして「会員を増やす」「年一回の総会を盛大にやる」が眼目。実は3年返事来ない人は除名しようと思案もあったが、やはり根気よく案内していく事にしている。

「熊本を離れてこそ大切になる同窓の絆」
各地区の皆さんは本当に同窓の絆を大切に下さっていると思います。お世話は大変ですが、そのご協力と努力のおかげで同窓会や現役生への活動が成り立っております。ありがとうございます。

●同窓会にも人を集める目玉がある
年一、人を集めようと思えば何らかの契機がある、目玉があるなど

●実行学年担当制で活性化図る
個人的には広島時代から40年位同窓会にかかわっており、4年前から福岡事務局長をしています。以前は集まりも100名超すのが精一杯か、もともと少なくなった時期もありましたので何とかしようと、今は実行学年制を取り入れていきます。担当をS41卒からお願したところ、世間的にいろんな事を分ってくれる年齢層ですから、とても上手く行っていると思う。昨年の参加は約250名で女性参加も増えました。女性が来ると華やかだし、若いのが来ると活気が出て、先輩方もとても喜んでくれます。県は同じですが北九州とは別です。あちらの方は歴史があり、昨年発足51回目の地区同窓会をされています。

●黄なTシャツで修猷館定期戦応援
年一回の同窓会他、福岡である試合の応援をしています。福岡県立修猷館高校とはラグビーや野球の定期戦があつていますし、剣道や水球も黄色いTシャツで行くのです。黄なシャツだと同窓生と判りますから保護者の方も声をかけてくれて、一緒に「応援は勝とう」(笑)と盛り上がりまますよ。

●リリー校として立派でなければならぬ
関西と言え甲子園、ラグビーの花園、男女駅伝。同窓会で応援に行けるのに肝心の現役が来ないと応援は出来ない。だから運動部が強くなるには関西で行われる大会へ出場する事が肝要と言えます。そうすると隠れ同窓生も同窓会に出てくるわけです。関西で熊本県人会と言つのは団体加入のやり方で今58団体。半分は学校同窓会、あと天草水保など故郷単位です。済々黌は常にリリー校であり、他県で言う一中ではなく、分校の幹。他同窓会とは評価が違うし、関西でも立派でなければならぬ同窓会なのです。

●今日の同窓会は因縁の地、鹿児島のおかげ
鹿児島県下には100名弱が判られるだろうと思うが、常時住所が判るのは80名位。近年、個人情報規制を問う声で学校関係名簿は以前より情報は判らなくなっています。去年この卒業式で「鹿児島同窓会へどうぞ」と言つたら、鹿児島に進学した学生が今年来ました。こつちも新卒者大歓迎ですし、参加したこと喜んでくれてるようです。私が鹿児島で強調するのは因縁の地である事。戦時中の佐々友房先生は軍人として鹿児島県内の激戦地を通っているが、大口(現・伊佐市)で重傷を負っている。もともと当たり所悪く戦死なさつたら今の我が黌はない、今日この同窓会もなかつたんだ、感謝しよう、話っております。

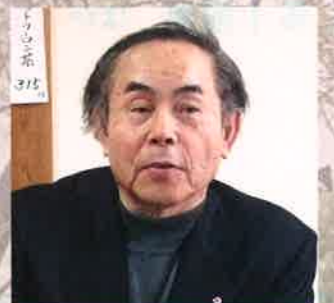
●若年層の連絡先発掘や新聞広告で努力
現在名簿250人程ですが住所が分かるのは180人位。毎年不明もあるのは25人位です。総会に来てもらえるのは25人位です。古葉竹識さんを4年前に呼んだ時は30数人でした。
若者の参加がとて少ないので掘り起こしに苦労しています。名簿もらつても個人情報保護で熊本の自宅しかわかりません。自宅から許可もらつて本人の連絡先を聞いてかけても、連絡つかない事も多いですね。新聞広告を出しますので、数名それを見て連絡くれた事があります。ゴルフや釣り会もやっています。

●一世風靡、広島カープ古葉元監督ゆかりの地
広島は大坂支部に属して校友会の名称で昭和48年に吉田正徳会長(S10卒)の自宅へ集まつて始まりました。昭和50年広島カープ古葉竹識監督(S30卒)で初優勝した時の同窓会は200名を集め、赤ヘルブルーはすこつたですね。最近では広島市民球場がなくなる時に古葉さんが来られ、集りをしました。
現在会員約40名で、総会とピアガーデン、忘年会の年3回の同窓会です。昨年は電車サミットで幸山政史市長(S59卒)が広島へ来た時、急ぎよ集まりました。実際は広島大学の学生がいるはずですが、なかなか分りませぬね。転勤異動も多く連絡が取りにくい傾向にあります。しかし、カバール地域は広くて福山地区や岡山辺りからも参加してくれています。ここ数年は熊本本部や福岡から来てもらつたり、私も福岡や関西



済々黌関西地区同窓会 森 武光 会長 (S26卒)

思っています。最近ではタレントの大田黒浩一君(S51卒)に頼んで来てもらつておつたが、その後は自主的に来てくれましたよ(笑)。集まれ集まれと言つても若い人はなかなか難しい。年齢ボトムアップでオジンの会にはなりそうです(笑)。昔は各大学に入つたら同窓会同志で飲み会をして知り合つていたが、聞いた今はあんまり一緒に飲まんようですね。日常的に充分飲んだり食つたり出来ますから、お祭り根性が要らないのかもしれない。



済々黌東海地区同窓会 北村 文弘 会長 (S36卒)



済々黌広島同窓会 杉田 裕 事務局長 (S43卒)

●済々黌は頭がイイですね、と言われ...
鹿児島で済々黌と言えは熊本と言わんでよかです。50年以上住んでますが、出身高を済々黌と言つてどこにありますが聞かれた事はな

●佐々創始者の教育原点を見直す時期
創始者佐々先生が鹿児島で「官軍」と戦つたという事は忘れ去られていますね。佐々先生の教育原点を知るため歴史を見直し、何か忘れてないか、見直す時期では? 徳・体・知と思つていたが、今は知徳体ですか? 文科省の方針と違つても原点は何なのか、我が黌らしくあつて欲しいと思つています。

●母愛への思いを語り合う参加者
話には尽きないが各地区悩みもありつつ工夫し頑張っておられる事に大変感謝申し上げます。年一度、母愛卒業式前日に集う地区役員との情報交換を恒例にし、少しでも熱い思いにお応えしたいと思います。同窓生は海外含め全国各地に散らばっています。各地区同窓会の皆さん、どうぞこれからもお支下さい。

済々黌東京同窓会



▲左から当時役員で、尾浦武昭副会長(S29卒)、沖村浩史副会長(S27卒)、加藤肇副会長(S25卒)、谷健二副会長(S30卒)、石原純幹事長(S40卒)、卒業式出席を終えて学室内にて。
済々黌東京同窓会は地区で最大の同窓会。大学生(浪人生も!)新人歓迎会や幹事会を実施し充実を図っています。毎年5月400人規模で総会懇親会を開催し、担当学年が独自の趣向を凝らしています。来年はS59卒の方が実行委員。
東京・関東地区在住の同窓生は是非ご参加下さい。

「各地区の努力が支える 済々黌同窓会」

新開徹幹事長 (S43卒)
話には尽きないが各地区悩みもありつつ工夫し頑張っておられる事に大変感謝申し上げます。年一度、母愛卒業式前日に集う地区役員との情報交換を恒例にし、少しでも熱い思いにお応えしたいと思います。同窓生は海外含め全国各地に散らばっています。各地区同窓会の皆さん、どうぞこれからもお支下さい。



▲くりむしちゅーからのビデオレター



▲司会役の西川亜也子さん(左)と川村香里さん



▲実行委員の平成元年卒業生は108人が大集結



のぼり旗で歓迎・総会・笑顔の参加者・グッズ販売
大先輩方・会場ひとつに饗歌斉唱・フレーフレー・頑張れ来年幹事



大同窓会に関する賛辞・要望・異見等(敬称略)

高橋 等(S18卒)

受付の人達の親切な対応で会場に案内され、司会者の粋な計らいで昭和11年卒の先輩3人を壇上で挨拶されたのは好感がもてた。
会場が騒々しいため、グループ撮影はアナウンスが必要で、アルコールが苦手な人の為にウーロン茶なども用意して欲しい。

緒方 正一(S35卒)

今年の幹事の人々はよくまとまって元気がよく頑張っていた。乾杯前の挨拶は好感がもてる内容もあったが、概して少し長く、また周りの雑談がうるさかった。
立ったままの飲食はかなり疲れます。今後卒業50年を迎えた学年より椅子に腰掛けさせてもらえるようお願いします。

布田 悟(S46卒)

今年もわざわざ話し声のする中、来賓の方々との挨拶が行われた。みんなこの同窓会の変化のないスタイルに飽きてきていることの現れでしょう。料理の質、量もお粗末で、ぎゅうぎゅう詰めでスピーチを含め90分でお開きです。そろそろ、脱マンネリ化が必要ではないでしょうか。

平賀 円(H22卒)

平成22年卒はおかげで120名を越える新卒者が参加することができました。こんな大人数は前代未聞だそうです。卒業してまもないので、なかなか熊本の会場に全員を集めることは難しいですが、今後、22年卒の同窓会を開く意欲が湧きました。会はあつという間の2時間だったように思います。

城 武信(S11卒)

会場いっばいに濟々巒独特の雰囲気の流れの中、まずは乾杯である。最古参年次の卒業生がこの役に当たることになっている。昭和11年卒の私たちがこの役を仰せつかり、喜んでお引き受けした。
生徒による三綱領の唱和は剛毅木訥、気迫がこもり上々の出来であった。宴もたけなわにして、瞬く間に時間が過ぎ、最後の締めくくりは「饗歌斉唱」であった。これはさすがに濟々巒ならではの壮大な雰囲気であり、饗風と歴史を歌い上げる歌詞の素晴らしさと、歌詞にマッチした曲の清浄、広大さに、参加者全員がその幸せに酔いつつ万歳を三唱した。

田中 裕司(H2卒)

来年の幹事学年ということで、今年は来年のリハーサルという気持ちで総勢約50名も参加しました。今回、先輩方がたくさん裏方の仕事をされているのを見させていただいて、来年もしっかり成功させるべく頑張らねばという気持ちになりました。

濟濟元年 いつだってはじまりだ!



▲乾杯の発声にステージへ立つ平成22年卒業生と最年長出席の昭和11年卒の高木正男さん、富永清さん、城武信さん



真開純洋 委員長



岩永研一 会長
(S26卒)



中西満雄 副会長
(S30卒)



新開徹 幹事長
(S43卒)

熊本

平成22年
5月21日

創立128周年濟々巒大同窓会 約950人が参加



▲総会の様子



▲中央は森崎勝利第35代団長(H元)、左は浅香英夫氏(H元)



▲万歳三唱をする野口敏夫副会長



▲手話であいさつをする高野正太実行委員長

平成22年度の濟々巒大同窓会(総会及び懇親会)は5月21日(金)に熊本全日空ホテルニュースカイにおいて盛大に挙行されました。
まず、午後5時30分より、総会が開催され、同窓会会長である岩永議長の「平成21年度事業活動報告から平成22年度収支予算に至るまで、関事務長(S38卒)の懇切丁寧な説明により、満場一致で承認され、その後多士会館の現状等についての報告があり、総会は滞りなく終了しました。
一方、懇親会会場周辺では、今年の幹事学年である平成元年卒業のメンバーが、高野正太実行委員長を中心に、懇親会の準備等に大忙しでした。
さて、濟々巒は今年創立128周年を迎え、再来年には130周年の節目となります。今年の大同窓会のコンセプトは「濟々元年いつだってはじまりだ!」でした。このことはいままでも延々と続いてきた昭和卒業から初めて平成卒業が幹事学年を担当することでもあり、折しも濟々巒では昨年古い管理棟が解体され、新しい管理棟が今年の8月に完成予定です。これらの出来事は濟々巒の歴史の新たな第一歩を刻むものといえるに期待しております。
いよいよ、懇親会の幕開けです。今年も90才を過ぎた大先輩から今年卒業したフレッシュな後輩まで950人以上の同窓生で会場は溢れんばかりの熱気に包まれておりました。全員で三綱領唱和のあと、学生帽で登場した中西副会長の開会の辞に続き、同窓会を代表して、岩永会長(S26卒)の挨拶、そして真開委員長による濟々巒の現状についての挨拶、新開幹事長(S43卒)の総会報告がなされ、いよいよ乾杯です。乾杯の御発声は最高齢者ということで昭和11年卒の城さんが指名され、平成22年卒の大勢の後輩に囲まれるなかで、乾杯が行われ、会食、歓談となりました。スクリーンでは幹事学年の卒業生であるくりむしちゅーのメッセージが映し出される中で、同級生、先輩、後輩の間で賑やかな会話が交わされ、時間は瞬く間に過ぎ去りました。来年度の実行委員長である平成22年卒の田中裕司君から来年へむけての力強い挨拶が行われ、全員で饗歌斉唱を行い、野口副会長(S38卒)による万歳三唱で終了しました。

今年大同窓会を担当された平成元年卒の高野実行委員長をはじめ、幹事の皆さん、本当にご苦労さまでした。また、この同窓会について、貴重なご意見、ご提言をお寄せ戴きました同窓生の方々に厚く御礼申し上げます。
広報委員 津留 伴一(S46卒)

現役生へのサポート

納入下さった会費では現役生もサポートしています。難関大学志望の現役生が大学見学に行く旅費や、各クラブの応援に出向く応援団同好会へ助成金を出しています。また、卒業生全員に卒業証書用の丸筒を贈っています。

同窓会会費について

皆様のご理解とご協力により集まった会費で、同窓会事業のすべてがまかなわれています。年会費の支払いかたには、学年で一括納入いただく方法と個人で納入いただく方法があります。ご不明な点は事務局へおたずね下さい。ご協力よろしくお願いたします。

平成21年度/22年度 済々黌同窓会 特別会計収支決算及び収支予算 (単位:円)

科目	平成21年度決算額	平成22年度予算額	備考
記念事業積立金収入	1,000,000	1,000,000	一般会計より
特別事業基金収入	3,000,000	0	〃
多士講座収入	550,000	50,000	
書籍売上収入	6,500	5,000	
雑収入	773	1,000	受取利息ほか
収入合計	4,557,273	1,056,000	

2. 支出の部 (単位:円)

科目	平成20年度決算額	平成21年度予算額	備考
多士講座支出	1,505,433	100,000	
雑費	1,865	2,000	
支出合計	1,507,298	102,000	

一般会計及び特別会計合算表 (単位:円)

	一般会計	特別会計	合算額
21年度 決算	当期収支差額 ▲3,662,294	3,049,975	▲612,319
22年度 予算	当期収支差額 ▲386,000	954,000	568,000

※上記の収支決算書・予算書は、平成22年4月13日開催の「幹事会」並びに4月22日開催の「代表評議員会」及び5月21日開催の「総会」に於いて、事業報告・事業計画と共に審議され、承認されました。

担当・広報委員 山下三美子(H6卒)
事務局 楠田 節子(S52卒)
事務局 中村友花理(S59卒)

広報

年1~2回発行する「会報」および、「ホームページ」にて各地区同窓会の様子や様々な活動、また母鬘の現況などをお知らせしています。
(広報委員会担当)

多士賞授与

毎年卒業式において、三綱領に則り済々黌生らしさを発揮した済々たる多士に値する生徒、一芸に秀でた生徒等に対して、同窓会会長より贈られます。
(育成委員会担当)



▲昨年度の記念品は、三綱領の稱と同書カードでした

市民公開セミナー「多士講座」(総務・組織委員会担当)や、「けたばき塾」(多士会館委員会)を開催しています。

各地区で開催される同窓会や学年同窓会をサポートしています。

同窓会の仕事



同窓会では、どのようなことをしているのか? 意外と知られていないその内容を大まかにまとめてみました。済々黌卒業生であることを誇りに思っていたただけるようにと、常に改善しながら運営しています。

平成21年度/22年度 済々黌同窓会 一般会計収支決算及び収支予算 (単位:円)

科目	平成21年度決算額	平成22年度予算額	備考
入会金	1,242,000	1,239,000	新入生より3,000円/人
年会費	6,490,000	7,000,000	同窓生より
過年度会費	36,000	25,000	〃
寄付金収入	1,036,985	1,050,000	大同窓会幹事学年ほか
雑収入	87,306	100,000	手数料ほか
収入合計	8,892,291	9,414,000	

2. 支出の部 (単位:円)

科目	平成21年度決算額	平成22年度予算額	備考
広報費	2,668,749	2,800,000	会報作成・送料ほか
広成費	800,000	870,000	学校研修会、応援団ほか
事業費	813,440	800,000	委員会事業費ほか
業務費	609,432	600,000	
印刷費	324,135	320,000	
支払手数料	112,210	120,000	
通信費	254,676	250,000	
消耗品費	152,489	160,000	
会議費	516,900	500,000	評議員会、委員会
旅費交通費	209,510	250,000	各地区同窓会への出席
慶弔費	249,242	250,000	
業務委託費	1,800,000	1,800,000	多士会館への業務委託
雑費	9,424	10,000	
記念事業積立金支出	1,000,000	1,000,000	130周年記念事業積立金
特別事業基金支出	3,000,000	0	
多士賞贈呈費	34,378	70,000	
支出合計	12,554,585	9,800,000	

当期収支差額	▲3,662,294	▲386,000
前期繰越金	5,313,759	1,651,465
次期繰越金	1,651,465	1,265,465



ハワイ支部



済々黌東海地区同窓会



済々黌東京同窓会



済々黌上海同窓会



八代済々黌同窓会



済々黌関西地区同窓会



ロスアンジェルス支部



済々黌北九州同窓会



済々黌広島同窓会



宮崎多士会



済々黌同窓会鹿児島会



済々黌植木同窓会



済々黌同窓会玉名支部総会



済々黌福岡同窓会

各地区同窓会へご登録下さい!
県外在住で地区同窓会情報が来ない方、このアドレスで氏名・卒年・住所や希望地区をご連絡下さい。該当する各地区に登録致します。同窓生であればどなたでも(学生も)大歓迎です。共通メールアドレス seiseikodosokai@gmail.com



多士会館の仕事

学費 50m 正門 手前

利用状況

多士会館は、創立100周年事業の一環として、この百年に学んだ同窓生から次の百年に学ぶ同窓生に贈るため、昭和59年に創立されました。

現在は、現役生、同窓生のみならず、他校生、近隣の一般の方にも広く利用していただいております。

また2階には、平成17年3月に建立された「英霊の碑」が祀っております。これは先の第二次世界大戦で戦死された同窓生のお名前を刻んだもので、同級生やご家族などが時折お参りに来られます。

平成21年度/多士会館利用状況

利用者	利用内容	利用者数(延べ)
在籍生	自習等	5,130名
	課外	3,200名
	部活の練習	777名
在籍生・他校生	講演会	253名
	合宿等	361名
同窓生	会合等	2,193名
保護者会	会合等	376名
一般	講演会・会合	1,874名
一般		14,164名



▲厨房ではお母様方が部活の生徒たちに食事を作られることもあります。



▲会館で自習していた生徒たちが合格報告に来てくれます。



▲同窓会の会議は毎回多士会館で開催されます。また、学年同窓会の会議を会館で開催することもできます。



▲本館の生徒の他、本館との練習試合のため他校からの合宿も受け入れています。



▲毎回好評のげたばき塾(竹原崇雄先生の回の様子)



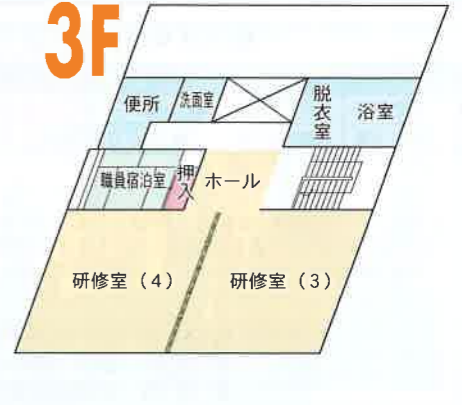
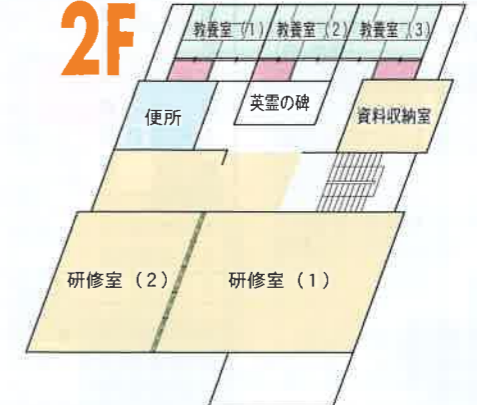
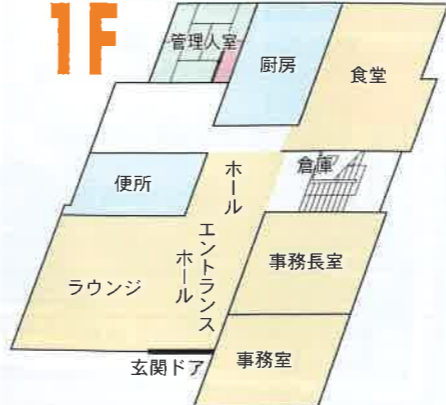
▲和室では箏曲部の練習が行われます。



▲放課後や休日に会館で自習します。学費の方々の課外も一部会館で行われます。



▲黄壁城を描いたタイルをバックに、お名前を刻んだ碑があります。



助成金

毎年、全国大会と九州大会に出場する本館の部活動へ、激励の意味を込めて助成金を贈っています。総体、総文のページに大会スケジュールを掲載していますので、お時間があられる方はぜひ母賛チームを応援しに行ってください。

平成21年/多士会館から本館部活への助成金

部名	助成金額(円)
運動部	
ソフトテニス部	170,000
ボート部	120,000
陸上部	75,000
水泳部	175,000
弓道部	5,000
空手道部	5,000
柔道部	5,000
スキー(個人)	10,000
文化部	
視聴覚部	50,000
合唱部	100,000
写真部	10,000
地学部	20,000
合計	745,000

※この他に「多士講座」へ20,000円助成しました。



▲先輩からの助成で頑張る現役生たち



▲本館で助成金贈呈式が執り行われます。

多士会館21年度収支計算書/22年度予算書

科目	21年度決算額	22年度予算額
基本財産利息収入	350,000	250,000
維持会費収入	5,573,000	5,800,000
同窓会受託料収入	1,800,000	1,800,000
その他事業収入	881,598	730,000
寄付金収入	3,888,000	3,900,000
受取利息収入	394,739	300,000
事業活動収入合計	12,887,337	12,780,000

支出の部

科目	21年度決算額	22年度予算額
給付手当	5,702,399	5,650,000
法定福利費	796,608	760,000
福利厚生費	180,510	200,000
通信運搬費	766,708	750,000
印刷費	393,225	400,000
修繕費	366,450	700,000
光熱水費	929,362	880,000
清掃費	681,076	685,000
諸謝金	233,800	240,000
租税公課	510,400	570,000
助成金	765,000	1,000,000
リース料	128,280	117,000
雑費	31,372	30,000
会議費	25,200	30,000
備品購入費	125,445	150,000
消耗品費	297,458	300,000
交際費	29,570	10,000
負担金	10,800	10,800
保険料	92,340	92,000
支払手数料	115,750	120,000
旅費交通費	0	40,000
事業活動支出合計	12,181,753	12,734,800
事業活動収支差額	705,584	45,200



▲運営を決める理事会・評議員会

「公益法人制度改定への対応について」多士会館は、制度改定に伴い、平成25年11月末までに新制度での財団法人(公益or一般)への移行申請をし、認定・認可を受けなければならなくなりました。就いては、理事会及び評議員会で協議を重ねた結果、今後の会館の運営・活動にとって、よりメリットのある「一般財団法人」(自由な事業活動ができる法人)への移行申請を行うこととなり、現在準備を進めております。

〈ご購入方法〉

ご購入は、①多士会館事務局で直接購入、②電話、③メールでお願いします。①以外の場合は、ご希望商品、数量、ご住所、お名前、電話番号、配達希望日時をご連絡ください。代金引き換えの宅配でお送りします。到着時に品代と手数料と送料をお支払い下さい。



三綱領ゴルフボール 1,200円(税込)



扇子 1,000円(税込)



マウスパッド(各色) 500円(税込)



クリアファイル 1枚300円(税込) 2枚500円(税込)



メモリン 300円(税込)

「済々々グッズ」をご存知ですか!? 上記以外のグッズも多士会館にございます。 連絡先: 済々々同窓会事務局 電話:096-345-3002 FAX:096-346-3225

創立128周年大同窓会記念グッズ

今年の大同窓会幹事学年である平成元年卒が企画したグッズです。限定生産ですので数に限りがあります。お早めにご注文下さい。

担当 広報副委員長 荒川慎太郎 (H3卒) 広報委員 勝久 卓治 (S63卒)



写真① 現在銀座通りに立つ同心学舎の跡地記念碑



写真② 高田原相模町同心学舎



写真③ 敷内の鳥瞰図。最下部の建物が本覺

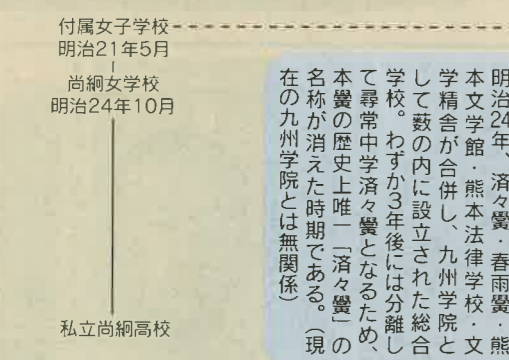


写真④ 九州学院時代の本覺舎

覺舎の変遷

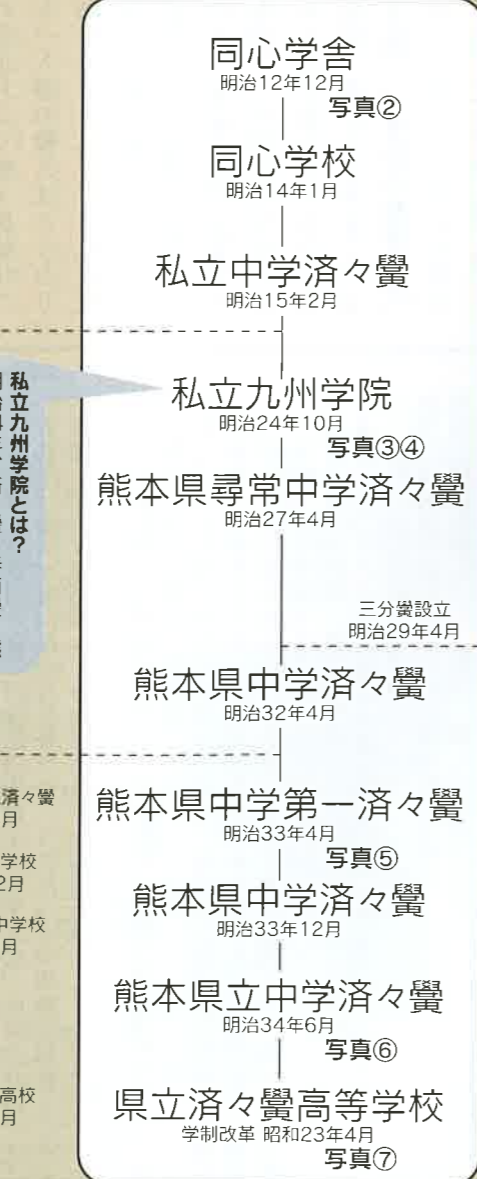


写真⑤ 黒髪移転後の覺舎。わずか3年で焼失



濟々覺歴史資料館とは 平成4年、110周年を記念して同窓会による資金援助のもと、本覺に関する資料の散逸を防ぐ為、本覺敷地内に設立されました。今回掲載した写真や資料以外にも本覺の歴史を再認識できる素晴らしい資料が展示されています。是非一度足をお運び下さい。

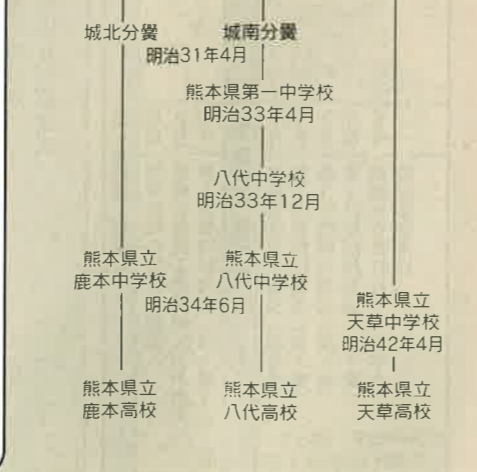
濟々覺の変遷



写真⑥ 黄壁城。スクールカラーの元となった



写真⑦ 平成21年に解体されたキナセン覺舎



三綱領 我が濟々覺の創立せられたる根本の精神なり吾人は之を以て本領とし生命として終始一貫以て其修養に自強不息ならんことを期す斯の如くするは則ち教育勅語の聖旨を拳々服膺する所以なり
一 正倫理明大義
人生最高の目的は正善の道念を社会に實現して以て窮極する所無きに存す而して此正善の道念は漫然として實現し得べきものにあらず必ず一定の準則なる可らず故に吾人は恒に倫理を正し道義に本づく誠意誠心以て之が實行に力めざる可らず夫れ忠孝一本の大義は我帝國國體の精華にして國民道徳の歸趨なり故に先づ此大義を明かにせば諸般の倫理は自ら其秩序を得るに至るべく而して之を實行して終始倦怠する所なきは則ち正善の實現たるべし故に吾人は此正善の道念を至高至重にして人生何物も之に加ふるなし之を實現するは是れ吾人畢生の目的にして吾人の崇高なる敬虔心は即ち此にありて存するなり
二 重廉恥振元氣
為善の志操を確守し彝倫の正道を實踐して以て人生の業務に邁進努力せんとする者はよく清明によく仁愛によく剛健に是れ純善として自強不息の精神を存し凛として一貫する所なるべからず若夫れ此精神にして薄弱ならんか是れ即ち廉恥心の萎靡なるものなり吾人は此高潔純一なる廉恥心を有するが故に自ら破邪顕正の活氣英邁進取の元氣磅礴して止まらざるものなり此根柢を體認する所に安心立命は自ら存するものなり
三 磨知識進文明
人世大小の業務は知識に頼りて進歩發展す而して其知識は必ず能く研鑽を加へ磨礪を施すを要す百般の知識は研鑽を経て其精なるものは愈々進むるに於て學問の基礎は愈々固なるを得べし且つ所謂聰明睿智の知識は於て學問の経験に研磨精錬を加へたる最も純明なる知識に外ならざるなり吾人の有する健全なる常識發展の原動力たるものなり
大正七年三月 熊本県立中學濟々覺長井芹經平

「三綱領」を第5代覺長井芹經平先生が解釈書きされた原本

三綱領 我が濟々覺の創立せられたる根本の精神なり吾人は之を以て本領とし生命として終始一貫以て其修養に自強不息ならんことを期す斯の如くするは則ち教育勅語の聖旨を拳々服膺する所以なり
一 正倫理明大義
人生最高の目的は正善の道念を社会に實現して以て窮極する所無きに存す而して此正善の道念は漫然として實現し得べきものにあらず必ず一定の準則なる可らず故に吾人は恒に倫理を正し道義に本づく誠意誠心以て之が實行に力めざる可らず夫れ忠孝一本の大義は我帝國國體の精華にして國民道徳の帰趨なり故に先づ此大義を明かにせば諸般の倫理は自ら其秩序を得るに至るべく而して之を實行して終始倦怠する所なきは則ち正善の實現たるべし故に吾人は此正善の道念を至高至重にして人生何物も之に加ふるなし之を實現するは是れ吾人畢生の目的にして吾人の崇高なる敬虔心は即ち此にありて存するなり
二 重廉恥振元氣
為善の志操を確守し彝倫の正道を實踐して以て人生の業務に邁進努力せんとする者はよく清明によく仁愛によく剛健に是れ純善として自強不息の精神を存し凛として一貫する所なるべからず若夫れ此精神にして薄弱ならんか是れ即ち廉恥心の萎靡せるものなり吾人は此高潔純一なる廉恥心を有するが故に自ら破邪顕正の活氣英邁進取の元氣磅礴して止まらざるものあり而して此心氣の渾然として一体なる所は吾人人格の根柢なり此根柢を體認する所に安心立命は自ら存するものなり
三 磨知識進文明
人世大小の業務は知識に頼りて進歩發展す而して其知識は必ず能く研鑽を加へ磨礪を施すを要す百般の知識は研鑽を経て其精なるものは愈々進むるに於て學問の基礎は愈々固なるを得べし且つ所謂聰明睿智の知識は於て學問の経験に研磨精錬を加へたる最も純明なる知識に外ならざるなり吾人の有する健全なる常識發展の原動力たるものなり
大正七年三月 熊本県立中學濟々覺長井芹經平

戦地から生徒への手紙

宛先 「済々黷生徒御中」

その手紙は1906年の歳月を経て、済々黷歴史資料館に静かに眠っています。その数443通の手紙は、208名の済々黷中学職員・卒業生の出征兵士たちが綴っています。

当時の日本は明治維新を成し遂げたが、植民地化を狙う欧米列強に加え、帝政ロシアが、日本海への進出で日本を刺激していました。日本は国家存亡の危機に瀕し、国全体が「臥薪嘗胆」のもと、国は予算の半分を国防費にさき、国民は江戸時代並みの耐乏生活を強いられました。そんな中、明治37年2月に日露戦争が勃発しました。当時済々黷は創立22年の県立中学校で、焼失した黒髪校舎復旧工事の最中でした。この戦争で済々黷から同窓生3000名余が出征され、50名余が戦死されています。

さて紹介する手紙の主は「澤友彦」といいます。明治31年卒27歳八代出身の体育担当教員であります。在職中志願され、後備第一師団後備歩兵第48聯隊第6中隊・歩兵少尉であります。井岸賢長、職員生徒宛、実に14通もの手紙を書き送っておられます。その中の一通を、ご披露致します。

爛漫たる桜もはづる、愛らしきなつかしき美少年諸君より、御懇切なる御慰問を辱ふし、飛び立つ計りうれしくあります。花咲き鳥歌ふの今日加て諸君の御正月にて賑々御愉快の事と存ます。二に、小生も幸に此度の激戦に加はり、運よくも一人前の働きは如何なりこうなり致し、今にピンピン飛び廻りはね廻り居りますから、御安心下され。さて此度當鴨緑江軍の大活躍は二月十九日に始まり、當隊は前哨、引続き常に第一線となり、先づ血祭に榛子峯の險を突撃にて占領し、清河城を陥れ、第十一師團は馬群丹撫順に突進し、當師團は右翼隊となり、馬圈子、西川峯、五竜口を略し、陣堂に於て優勢の敵に遭遇し、苦戦十昼夜、就中、當聯隊は薄弱なる陣地を死守し、敵の衝撃を受け、其弾果となり、聯隊長片倉中佐負傷し、大隊長戦死。其他の將校殆んど死傷し、各中隊半数の兵を失ひ、実に惨憺たる有様を呈出し候。然し九州男子の何ひるむべき勇奮激闘、遂に之を撃退し、追撃に轉じ、息をもつかせず地塔營盤の敵を駆逐し、多大の損害を與へ、多数の捕虜を得、北方遠くひだ追ひに追ひ散らし、非常な愉快であります。

殆んど一ヶ月間寒氣と戦ひ、勁敵を挫き、峻坂を攀切、深谷を渡り、山に寝ね、雪に埋れ、随分骨も折れ愉快もあり、ヨゴレもかぶりました。ヨゴレ三寸と云ふ程には無之候へ共、人間の膚は見え、支那人處か印度の黒奴同様となり、如何なる若年の小生でも、一目御目にかけたならビックリ驚天愛憎をつかさる、ならんと只独り打笑ひました。小生の中隊も屢々危険の地に立ちました、殊に陣堂に於て天王山とも云ふべき岩山を敵と争ひし時、或は優勢なる敵の夜襲を受けし時など、微傷を負はず(隠れて居ったかも知れん)生き残りたる等、今から思へば夢の様であります。其敵の夜襲の際は、あぶない事で、前面及び側面より、彼は夜暗と死角を利用して、ウラーウラーの声高く、銃先構へて突き込んで来ました。それで、此方よりも逆襲に轉じ白兵戦となり、互に多数の死傷者を生じましたが、敵は我に三倍以上の勢、おまけに爆裂弾を投げつける、アハヤ我陣地も敵の為に蹂躙されんとせしも、エヘン澤先生下帯をたれては済々黷の若手に對してすまんと部下を督し、

「坂の上の雲」の時代、我が先輩達はあの秋山兄弟とどのような雲を目指したのか?

叱咤一番陣地を死守し、苦戦奮闘防戦せしかば、潮の寄するが如く、破竹の勢いを以て来る敵も、躊躇逡巡色めき立つ処をつけ込み、惱す内、増援隊が来り、共に力を合せて撃退いたしました。其時、敵の遺棄せし死体が五十計りありました。此に對し、昨日軍司令官より感状が中隊長に授与されました。実に面目の次第であります。

其の他苦しき事やら面白き事のありしは枚挙に遑ありませぬ。中隊の兵も後には五十足らずになりました。然し志氣益々振ひ、ウラジオ、ハルピンは愚か露都道も踏みつぶす意氣込であります。此度の戦闘を我ら筆尺寸能はず。口審にする能はず。(諸君の中には達筆も御坐れば能辯も御坐るけれども)何ともかとも形容の仕様がありません。若し萬一、命を拾ふて凱旋でもしたら、済々黷の家が崩る、様に一ト法螺吹き度考てあります。小生が出征以来病氣にも罹らず、困苦缺乏にも堪へ、無事に任務を尽すのは、済々黷の御蔭であります。済々黷と云う觀念は、死しても決して忘れぬつもりであります。

諸君しつかり今の中に勉強し給へ。諸君もやがて満州に渡らねばならぬから、學科は申込もなく、体操でも撃剣でも野球でも、時間中はまじめにおやりなさい。相手の竹刀が當らぬ様に敵の弾丸も中りませぬよ。我等の同窓生も大分死傷をして氣の毒であります。然し皆、手柄は充分立て、居ります。只今小生は東京方面に居ります。美少年は澤山居ります。當地は田舎で甘き物がありません。酒保にはカタパンもあります。小豆に砂糖をまぜて食うのが関の山。申上度事は諸君の教よりも多々あれども、餘りながくなりて御退屈と存ますから後便に譲ります。さよなら穴賢。

出征後備第一師団後備歩兵 第四十八聯隊第六中隊
四月十二日 歩兵少尉 澤友彦
済々黷生徒御中

あとがき

「坂の上の雲」では、「...その様な時代人としての体質で、前を見つめながらあるく、のはつていく坂の上の青い天にもし一朵(ダ)の白い雲がかがやいてるとすれば、そののみみつめて、坂をのぼつてゆくであろう。」と後述しているが、この本の主人公秋山真之(弟)より10才下の澤先生も明治37年1回動員で、教員を辞して、ただただ「白い雲」を見つめながら出征されたのです。

武運偏重の手紙が多い中、先生は生徒達には思いやりを込め、語りかける様な文章で勉強等にも触れていて、戦地で中隊(約100名)が50名になった激しい戦いの最中で「無事に任務を尽くすのは、済々黷の御蔭です」と書いています。実に頭が下がります。済々黷の後輩への思いやりの伝統は澤先生らが源流ではないだろうかと思えます。

戦地からの一通の手紙に取り組み始めてからは、試験地獄さながらの編集作業でした。しかし、遠いと思えた100年前の明治がすぐ近くに感じて、温故知新を味わった2カ月でした。

さて、私達は100年後の後輩に何を残せるのでしょうか?

「日露戦争従軍将兵の手紙」を苦勞され編さんされました有田経裕元先生を始め他8名の方々に敬意を表します。また、執筆に当たり、当時国語の担任でありました中山隆一(菊池市泗水在住)元先生にもご指導を頂きましたことを感謝申し上げます。

広報委員 小野川和裕(S41卒)



澤友彦

プロフィール

- 明治10年生、昭和19年没。
- 熊本県八代郡八代町。
- 明治27年入学、31年卒業。第五高等学校へ進学。
- 明治35年7月～12月、済々黷職員(撃剣、体操担任)。
- 明治36年～八代中学職員(国漢、剣道、修身担任)。この間に出征された。
- 明治39年6月20日無事、明治神宮凱旋、帰還。
- 昭和12年まで八代中学で教職を続けられて、昭和19年(67歳)にご逝去なさいました。

鴨緑江軍(おうりよくこうぐん) 旅順攻略後、第三軍(乃木司令官)から第十一師団を引抜き、澤先生の後備第一師団を加えた第五番目の軍。ロシア軍の左翼に配置。兵力約一万人。

後備第一師団 第一軍(黒木司令官)の後詰の予備軍。戦争末期、陸軍の兵員不足で南九州、石川、富山県から召集され、百日足らずで戦地に出征した老兵師団(坂の上の雲) P.31、P.37 司馬遼太郎

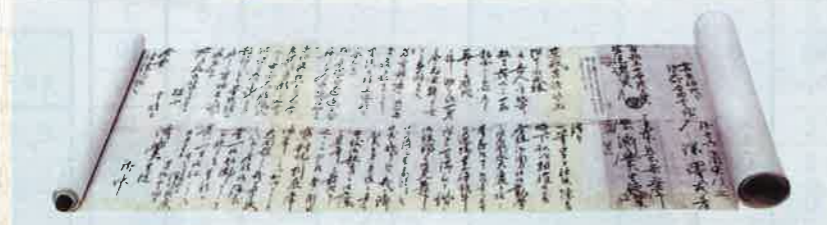
- ※1 在職中、卒業出征兵士に、激励の為、手紙や校内雑誌「多士」(昭和36年11月・創刊)を発送。
- ※2 二月十九日、澤先生の師団は第十一師団と合流。ロシア軍の左翼を刺激し、主力を引きつける陽動作戦の命を受けた。後詰の先生の師団が第一線に張り出した。この為にロシア軍と遭遇した。奉天会戦は歴史的火ぶたが切れて落とされた。
- ※3 二月二十四日、清河城陥落。
- ※4 二月二十六日、馬群丹突進するも、敵の増援部隊と陣堂で遭遇し、苦戦の一〇日間が始まる。
- ※5 高地から敵の的になり、狙い打ちされた。
- ※6 強敵を倒し。 ※7 険しい坂をよじ登り。
- ※8 ロシア軍が突撃するときの叫び声。
- ※9 鴨緑江軍川村景明司令官よりの感謝状。
- ※10 軍隊内の売店。

明治37年(1904)	済々黷関係(熊本県)
2月4日 開戦決定	6月 陸軍特校の出征送別会
2月24日 旅順閉塞作戦(海軍)	9月 新校舎再建工事開始(36年竣工)
12月6日 二百三高地を占領	12月 第一回慰問状発送(済々黷)
明治38年(1905)	済々黷関係(熊本県)
1月2日 旅順閉城	1月 旅順陥落大祝賀会(熊本市)
1月5日 水師管区見	2月 第二回慰問状発送(済々黷)
1月12日 鴨緑江軍編制	3月 第三回慰問状発送(済々黷)
2月22日 奉天開戦	5月 第四回慰問状発送(済々黷)
3月10日 奉天占領	6月 戦勝祝賀提灯行列(熊本市)
5月27日 バルチック艦隊を破る	校舎建築落成
9月5日 日露講和条約(ポーツマツ)	

▼保存されている手紙



▼澤友彦氏が書いた実際の書面



平成4年に応募の坂の上の雲H7辛らに発見され10年3月に刊行。定価8000円を、6500円にて多士会館にて販売中。



濟々齋の1年



運動会



入学式



学校説明会



進路講演会



職業別講演会



センター試験(熊大へ向かって)



マラソン



修学旅行



高校入試合格発表



卒業式



熊高定期戦

主な年間行事予定	
4月	新任式・始業式・入学式
5月	恩賜記念大運動会 同心会総会
6月	高校総体・総文
7月	終業式・夏季前期課外 進路講演会
8月	学校説明会 夏季後期課外
9月	始業式 文化祭 職業別講演会
10月	芸術鑑賞
12月	修学旅行 終業式・冬季課外
1月	始業式 センター試験
2月	校内持久走大会 創立記念式典・同窓会入会式
3月	卒業式 高校入試 終業式



文化祭



修学旅行



今年は医学部医学科9名!

—昨年度の進学状況—

今年の進学状況を進路指導室の坂井誠先生にお聞きしました。

Q: 今年の入試の傾向について

A: 全国的に少子化傾向にあります。大学進学を目指す高校生は逆に増えているので、大学入試の競争率は高まる傾向にあります。今年の大学入試センター試験の志願者数は55万3000人で、昨年より約9000人増えています。今年も経済不況を背景に、学費の安い国立大学への志向が高まり、2次試験志願者数は48万9千人と昨年に比べ、1万4千人(3.0%)の大幅増になり、志願倍率も4.76倍から4.89倍へとアップしました。このうち、前期日程志願者は11,000人増、後期日程は難関大を中心に廃止、縮小が続いていますが、志願者は2,000人増になっています。これは例年以上に後期まで粘り強く出願を考えた受験生が多かったことを示しています。一方、受験に、受験料、交通費、宿泊費がかかる首都圏等の私立大学の志願者数は難関と言われる大学は減少、2番手グループは逆に志願者数を伸ばしています。私学受験の傾向としては、直接大学入試をせずセンターの点数だけで受験できる方式の志

願者数が大幅増になりました。これは受験料も安く交通費宿泊費がかからないため、不況の中で人気が高まったものと思われる。

Q: 今年の本業の入試結果の傾向

A: 今年の本業は、国公立大学に関しては、難関大学、医学部医学科においては昨年に引き続き好成績を収めました。理系センター試験成績が振るわなかったこと、昨年と較べ第一志望にこだわる生徒が多かったことにより、例年並みの結果になりました。特に熊本大学医学部医学科には、推薦枠2名に加え今年から始まった地域枠へ2名、浪人が1名、計5名が合格しました。私立大学に関しては、不況を反映して全体的に志願者数が減ったため、合格者数も減少しています。学部別では資格のとれる、看護系、教員養成系の志願が増加しており、ここでも不況を物語っています。

Q: 今後の指導の方向

A: 今後もこのような不況の状況はしばらく続くものと予想され、将来の就職に有利な大学の志願が増えたと予想されます。大学入試は難関大学になればセンター入試はもとより、二次試験の配分が高くなります。この傾向は今後も変わりません。そのため、短期間での詰め込み学習では対応できず、1~2年生からの学習の積み重ねがより重要になります。今年も全生徒に来年度入試問題の分析集を配布し、低学年から進路に対する意識を高めさせるよう、計画しています。

過去3ヶ年の主な大学合格状況

大学名	年	22			21	20	大学名	年	22			21	20
		計	現	旧					計	現	旧		
筑波大	3	3	0	1	2	首都大東京	4	2	2	3	4		
千葉大	2	1	1	0	1	神戸市外大	1	1	0	5	1		
お茶の水女子大	1	0	1	0	0	北九州大	2	2	0	5	7		
東京大	2	2	0	3	5	熊本県立大	26	19	7	31	29		
東京外大	1	1	0	2	1	公立大計	45	32	13	59	47		
東京学芸大	1	1	0	2	6	青山学院大	3	2	1	3	6		
東京工業大	0	0	0	1	0	慶應義塾大	7	1	6	9	8		
東京農工大	0	0	0	1	1	駒沢大	0	0	0	1	1		
一橋大	3	0	3	1	1	自治医科大	1	0	1	0	1		
横浜国立大	1	0	0	7	7	上智大	1	0	1	2	3		
名古屋大	2	1	1	1	1	中央大	14	9	5	13	18		
京都大	5	3	2	4	0	東京女子大	0	0	0	1	2		
大阪大	8	5	3	10	7	成蹊大	1	0	1	2	1		
奈良女子大	0	0	0	1	1	東京理科大	4	1	3	10	6		
神戸大	4	2	2	5	4	国際基督教大	0	0	0	2	1		
広島大	8	4	4	8	4	日本大	3	0	3	6	7		
岡山大	0	0	0	3	0	法政大	5	1	4	14	10		
山口大	1	0	1	0	5	明治大	16	8	8	23	19		
福岡教育大	4	2	2	1	4	明治学院大	1	0	1	0	9		
九州大	28	23	5	46	32	立教大	6	3	3	6	16		
九州工業大	4	4	0	5	1	早稲田大	12	2	10	26	23		
佐賀大	2	2	0	2	2	津田塾大	4	3	1	2	0		
長崎大	6	4	2	13	7	同志社大	10	5	5	14	17		
大分大	1	1	0	1	5	立命館大	26	12	14	51	34		
宮崎大	5	1	4	7	2	関西大	3	2	1	3	8		
鹿児島大	19	15	4	25	16	関西学院大	3	2	1	5	10		
熊本大	文	11	11	0	9	5	西南学院大	32	15	17	59	66	
	教育	29	25	4	28	30	福岡大	19	14	5	37	48	
	法	9	8	1	17	18	産業医大	1	1	0	4	2	
	理	2	2	0	5	11	私立大計	294	143	151	419	459	
	医・医	5	4	1	1	6	防衛大	4	2	2	7	5	
	医・保	15	11	4	13	10	航空保安大	0	0	0	1	0	
	薬	5	4	1	8	3	防衛医科大・医	0	0	0	0	1	
	工	19	19	0	37	19	大学校計	5	3	1	8	6	
	小計	95	84	11	118	102	県立技術短大	1	0	1	0	0	
	国立大計	214	164	50	276	222	短大計	2	1	1	0	3	



▲同窓会からの今年の合格祝のキットカット

大学名	年	22	21	20
旧帝国大		45	64	45
国立大医・医		9	5	11
早稲田・慶應		19	35	31

※旧帝国大とは、北大、東北大、東大、名大、京大、阪大、九大の7大学を示します。

熊本県内		五十音順		
大学名	年	22	21	20
九州看護福祉大		2	2	0
九州ルーテル大学		0	1	0
熊本学園大		10	18	26
熊本保健科学大学		17	27	12
尚綱大学		1	2	2
崇城大学		23	14	28

総合文化祭

全国総文祭 出場おめでとう!

視聴覚部 オーディオビクチャー部門
(部の出場は2年ぶり)

弦楽アンサンブル 器楽・管弦楽部門
(熊高・真和と合同、弦楽アンサンブルとしては初出場)

NHK放送コンテスト
全国大会出場おめでとう!

視聴覚部 テレビドキュメント部門
ラジオドキュメント部門

全国大会出場			
視聴覚部	第57回NHK杯全国放送コンテスト	テレビドキュメント部門	7/22(木)~23(金) 東京・NHKホール
視聴覚部	第34回全国総合文化祭	オーディオビクチャー部門	8/4(水)~5(木) 宮崎県清武町文化会館(予定)
弦楽アンサンブル	第34回全国総合文化祭	器楽・管弦楽部門(熊本合同)	8/4(水)~5(木) 宮崎市民文化ホール(予定)



ステージ部門	展示部門
弦楽アンサンブル同好会	美術部 甘浦麻結さん(2年)が出品
箏曲部	書道部 加来佐枝子さん(3年)が出品
視聴覚部	写真部 西村千夏さん(3年)が出品
洋舞(個人)	理科 生物部、地学部が研究内容を出品
	囲碁・将棋同好会 大塚孟くん(3年)以下4名で出場
	華道部 阿久根英瑠佳さん(3年)以下10名が出品
	茶道部 香山桃子さん(3年)以下28名でお点前披露

学業トピックス
担当 野田 研一 (S50卒)
事務局スタッフ 楠田・中村

済々黌剣友会

剣道部OB会の集まり。名簿上の会員は、戦前卒を含めて約400人(生存者のみ)。そのうち住所が判明しているのは約200人。会の活動目的は会員の交流・親睦と母體剣道部への支援が二本柱。具体的な活動は、正月3日に開く総会、9月に熊本高、八代高、五名高など兄弟校が参加して済々黌体育館で開催する佐々旗親善錬成会(今年で19回目)、10月に菊池市で開かれるシニア剣道交流大会への出場など。また、毎月2回、済々黌道場での稽古会、夏と年末には暑気払いや忘年会などで親睦を深めている。

剣道部への支援としては、会員から募る年会費(105千円)の中から部の活動資金として激励費(20万円)を贈っているほか、県高校総体など各大会への応援に駆け付けている。

▽会長 長 郡 祐一 (S43卒)
▽事務局長 矢野 敬夫 (H3卒)

部活OB会連絡先一覧(部活OB会を掲載しています。他に活動しているOB会がありましたら、seiseikodosokai@gmail.comまたは096-345-3002(多士会館)にご連絡下さい。)

名称	連絡担当	TEL	メールアドレス	OB会HP
応援同好会	高濱 毅(S60卒)	096-325-1330(職場)	prokumamoto95@yahoo.co.jp	http://seiseiko-ouendan.com
サッカー部	堤 敏郎(H元卒)	096-364-9251(職場)	seisei_sc@yahoo.co.jp	http://www.seishukai.net
野球部	田浦 真光(S50卒)	096-375-2000(職場)	—	—
空手部	布田 悟(S46卒)	096-232-3321(布田司法書士事務所)	—	—
水球部	片桐 英夫(S58卒)	096-353-2111(職場)	—	—
ハンドボール部	吉村 昌展(S63卒)	090-4474-7020	robo-yossy@ezweb.ne.jp	—
バスケットボール部	山口 元成(H元卒)	090-8410-4828	—	—
ラグビー部	山中 農(S28卒)	096-352-2868(自宅)	—	—
柔道部	近藤 享(S40卒)	096-382-3503(自宅)	—	—
弓道部	山田 耕司(S54卒)	090-3732-1879	info@ko-kyu-kai.com	http://ko-kyu-kai.com
剣道部	郡 祐一(S43卒)	096-361-3081(職場)	—	—
陸上競技部	永廣 憲一(S42卒)	096-353-3131(FM熊本内)	—	—

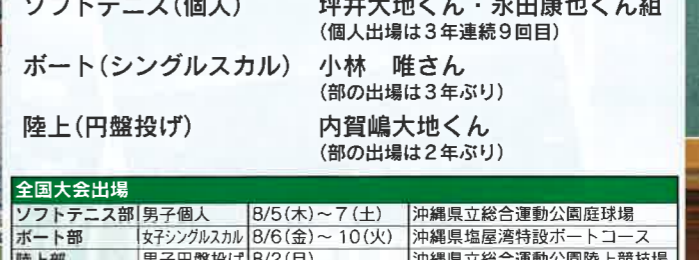
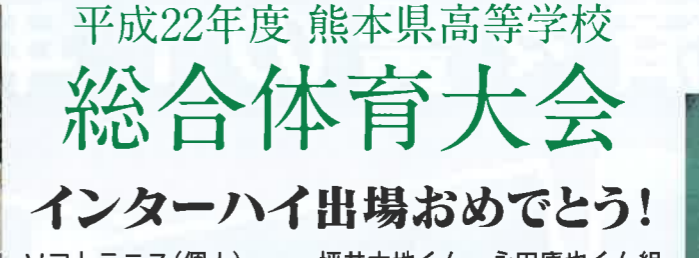
総合体育大会

インターハイ出場おめでとう!

ソフトテニス(個人) 坪井大地くん・永田康也くん組
(個人出場は3年連続9回目)

ボート(シングルスカル) 小林 唯さん
(部の出場は3年ぶり)

陸上(円盤投げ) 内賀嶋大地くん
(部の出場は2年ぶり)



【漕艇部】

【男子】ダブルス 2位 宮園・小場佐・境・上野・辻本 九州大会
ダブルスカル 2位 出田・本田組 九州大会
【女子】ダブルスカル 2位 川口・岩崎組 九州大会
シングルスカル 優勝小林 唯 九州大会・全国大会

【ソフトテニス部】

【男子】(団体戦) 2回戦 済々黌 3-0 阿蘇 3回戦 済々黌 2-0 小川川 準々決勝 済々黌 2-0 熊本西 決勝リーグ 済々黌 2-1 天草 済々黌 2-1 中央 済々黌 1-2 文徳 (2勝1敗 準優勝)九州大会
(個人戦) 永田・坪井組 4位 九州大会・全国大会 主海・坂本組…ベスト16

【女子】(団体戦) 2回戦 済々黌 2-1 多良木 3回戦 済々黌 1-2 天草
(個人戦) 宮本・沖田組…4回戦進出 増田・林組…4回戦進出 田中・飯田組…4回戦進出

【陸上部】

【男子】400m 児玉 決勝 6位 南九州大会
やり投げ 鈴木 決勝 4位 南九州大会
円盤投げ 内賀嶋 決勝 優勝 南九州大会
三段跳び 佐藤 決勝 5位 南九州大会

【女子】400m 長浦 決勝 6位 南九州大会
800m 市原 決勝 6位 南九州大会
走り幅跳び 田中 決勝 4位 南九州大会
400m障害 林 決勝 6位 南九州大会
1600mリレー 市原・長浦・田中・林 決勝 4位 南九州大会

【テニス部】

【男子】(団体戦) 2回戦 済々黌 3-0 天草工 3回戦 済々黌 1-2 東海大二 (個人戦ダブルス) 田辺・志波組 5回戦進出(ベスト16)

【女子】(団体戦) 1回戦 済々黌 3-0 学園大附 2回戦 済々黌 0-2 熊本商

【水泳部】

【男子】50m自由 池田 8位 九州大会
200m個人メドレー 井上 7位 九州大会
400m個人メドレー 井上 7位 九州大会
100m自由形 田中 3位 九州大会
200m自由形 田中 2位 九州大会
400mリレー 池田・角田・田中・井上 4位 九州大会
800mリレー 池田・角田・田中・井上 5位 九州大会
400mメドレーリレー 田中・谷口・角田・井上 4位 九州大会

【女子】100mバタフライ 吉永 5位 九州大会
200mバタフライ 吉永 4位 九州大会
400mリレー 吉永・坂上・二田・仙波 7位 九州大会
400mメドレーリレー 村上・森下・吉永・坂上 7位 九州大会

【卓球部】

【男子】(団体) 1回戦 済々黌 3-1 松島商 2回戦 済々黌 3-1 八代南 3回戦 済々黌 3-0 九州学院
(個人) 園田…3回戦進出

【女子】(個人) 山本…2回戦進出

【ハンドボール部】

【男子】1回戦 済々黌 0-2 鹿本 2回戦 済々黌 60-62 球磨工

【女子】1回戦 済々黌 50-44 松橋 2回戦 済々黌 37-69 慶誠

【卓球部】

【男子】(団体) 1回戦 済々黌 2 (内容) 2秀岳館 2回戦 済々黌 1-4 芦北
(個人) 酒瀬川・清田…4回戦進出

【女子】(団体) 1回戦 済々黌 2 (代表) 2 第一 準々決勝 済々黌 0-5 マリスト
(個人) 伊藤…4回戦進出

【バレーボール部】

【男子】1回戦 済々黌 0-2 鹿本 2回戦 済々黌 3-0 松橋 準々決勝 済々黌 0-3 八代東(ベスト8) (個人シングルス)大石…4回戦進出、白木、下田…3回戦進出 (個人ダブルス)大石・白木…3回戦進出

【女子】1回戦 済々黌 3-0 御船 2回戦 済々黌 3-0 翔陽 3回戦 済々黌 0-3 必由館

【バドミントン部】

【男子】(団体) 1回戦 済々黌 3-0 鹿本 2回戦 済々黌 3-0 松橋 3回戦 済々黌 3-1 熊本 準々決勝 済々黌 0-3 八代東(ベスト8) (個人シングルス)大石…4回戦進出、白木、下田…3回戦進出 (個人ダブルス)大石・白木…3回戦進出

【女子】1回戦 済々黌 3-0 御船 2回戦 済々黌 3-0 翔陽 3回戦 済々黌 0-3 必由館

【空手部】

【男子】(団体) 1回戦 済々黌 2 (内容) 2秀岳館 2回戦 済々黌 1-4 芦北
(個人) 酒瀬川・清田…4回戦進出

【女子】(団体) 1回戦 済々黌 2 (代表) 2 第一 準々決勝 済々黌 0-5 マリスト
(個人) 伊藤…4回戦進出

【弓道部】

【男子】(団体) 22/40本 予選敗退 (個人) 宮本昭和 準決勝進出

【女子】(団体) 14/40本 予選敗退 (個人) 黒岩優莉花 決勝3位 九州大会

【柔道部】

【男子】(団体) 1回戦 済々黌 3-1 小川工 2回戦 済々黌 0-2 鹿本 (個人) 古閑…2回戦進出、片原…1回戦進出

【女子】(個人) 塚本…2回戦進出

北京修学旅行がきっかけ

國武 作好 (H13卒)

私が中国に興味を持つようになったきっかけを作ってくれたのは済々黌、そして卒業から7年後上海で働くきっかけを作ってくれたのも済々黌でした。応援団として過ごした3年間は、卒業して10年経っても全く色褪せることはありません。



勤務先：重光産業(株)国際部
味千(中国)控股有限公司 品質管理部

初めての出会いは1年生の時に修学旅行で行った北京でした。姉妹校である北京大学附属中学校(日本の高校に相当)の学生との交流会で、同じ顔をしているのに言葉や考え方が全く違う、と思ったのははっきりと覚えています。

卒業後、大学では中国語を専攻し、1年間北京への語学留学もしました。本物の中国を体験することが出来、卒業後は中国で働きたいと強く思うようになりました。

大学卒業後は、済々黌同窓会の青年会で以前よりお世話になっていた先輩にご紹介頂いたおかげで、「味千ラーメン」の重光産業(株)に入社することになりました。2度目の出会いでした。

現在は中国の味千ラーメンで品質管理部に配属され、日々、中国人に囲まれて仕事をしています。日本の味千とは違い、メニューには焼き鳥やかつ丼もあります。習慣や言葉が違う中で慣れることもありますが、今年の4月には上海済々黌同窓会も発足し、充実した日々を送っています。

換学生派遣、奨学金支給、等のほか、クラシックコンサート、協賛、薬物中毒撲滅運動、清掃活動などです。皆様方のゲスト参加をお待ちいたしております。HPも是非ご覧下さい。



http://ouhekijyo.com (黄壁城ライオンズと入力でも検索可)

表紙制作：衣遊音(上野功一朗 S61卒)

OB・OG 現役サポート

強いだけでは「済々黌」ではない
空手部監督 齊藤 健蔵さん(S41卒)



コーチを始めた時から現在8年、空手部を指導する齊藤監督。55歳で退職し3月のインターハイを見に行った時に「もっと強く出来る」、教えたいと思い今に至ってる。「部活は自由だからどこを目標とするかも自由。楽しみでやりたいのか、全国へ行きたいのか。ただ思いつくよりも負けばかりじゃ面白くないだろう、その意識改革から始めた」と振り返る。平成17年には女子で九州ブロック大会2位、県インターハイも優勝している。これまで全国大会へは団体2回、個人3回進出。「全国へは生徒に連れて行ってもらったと思い、更に恩返しをという気持ちになりますね。」

「しかし済々黌は強いだけじゃダメ。さすがと言われる礼儀作法があって我が黌」とOBならではの考えをもった指導の意欲を持ち続けている。監督の立場から「安全なスポーツはありません。特に空手はケガと紙一重、集中力と判断力が必須。部員達は素質・根性・性格、とても良いですよ。女子も期待出来る子ばかり」。

では同窓生として「思い起こすと間違いなくこの3年間に青春が詰まっています。その時期を無駄にさせられないという責任がある。まず空手を強くしたいが勉強も頑張ってくれ!と心の中で思っています。かわいい後輩だから進学や就職でその後の人生、一人前にやっていけそうな姿をみたらやっとなんとするんですよ」。熊大に進学した部の卒業生が連日コーチに来ている。練習をさせている姿に目を光らせているながらも「自分との反面教師ですかね?」と表情を緩め生徒を見守っていた。



(広報委員長 坂井木綿子 S60卒)

楽しくやっています!! 熊本黄壁城ライオンズクラブ

日本初の高校OB・OGだけによるライオンズクラブを結成してから2年、会員数は33名。1丁例会の採用も日本初で、いかにも済々黌らしいと話題になっています。目的は社会奉仕活動であり、基本精神は「We Serve」我々は奉仕する。つまり一人では出来ないことも力を合わせて頑張ろうということとです。一般にライオンズクラブはブルジョアの娯楽的集団と言われておりましたが、本クラブは全く一般の方々ばかりで、まさに異業種、異世代、異人種交流の場となっています。

主な活動は母養生徒に対する海外交換学生派遣、奨学金支給、等のほか、クラシックコンサート、協賛、薬物中毒撲滅運動、清掃活動などです。皆様方のゲスト参加をお待ちいたしております。HPも是非ご覧下さい。

編集後記

今年もまた不肖ながらキャプテンマーク付けてさせて頂き会報作成。同メンバー2年目となるゆえに各委員で編集担当員を持って取り組んだ。

大同窓会レポート担当の津留伴一委員(S46卒)は辛口アンケートを入れるアイデアを実行。歴史資料館のお宝三綱領書面を勝久卓治委員(S63卒)が見易く撮影とリポート、賛否交差の整理と裏表紙の担当は荒川慎太郎副委員長(H3卒)。小野川和裕委員(S41卒)は坂雲企画として1通の手紙紹介に2カ月近くの格闘。4頁にわたる学費トピックスは事務局全面協力野田研一委員(S50卒)がチェック。浄財である会費の使い道や事務局業務紹介に工夫を凝らした山下三美子委員(H6卒)。各地区連絡、多士会館情報、学費制との仲介や資料作成と全盤にかかわった事務局・楠田節子先輩(S62卒)と中村友理先輩(S59卒)。刷り上がった会報の管理や発送でお世話になる関健二事務局長(S38卒)。更には地区役員談話のご参加、青年会、ほか取材協力に心から感謝します。気に入った企画があったら担当委員を挙げて下さい。

個別担当ではあるが内容統括については委員長の責任。担当者と出来る限りの確認をし、各表記も工夫したが、不慮の点あれば指摘下さり次回教訓とする旨で何卒ご了承頂きたいと願っています。これ以上重大なミスをしてはいたのならばチームの守護神、宮田房之委員(S59卒)、弁護担当を宜しく。

全会議に立ち会って下さった新聞徹幹事長(S43卒)を監督に今年のチーム広報11人。多くの同窓生の「済々黌」に命をかけるようなキックを放ったのだから上ない喜びです。

広報委員長 坂井木綿子(S60卒)

第5回市民公開セミナー 多士講座

熱血教師の姿そのままに「信は力なり」～山口良治氏講演～



▲身ぶり手ぶりで熱く語る山口氏

平成22年2月5日、「多士講座」は京都・伏見工業高校ラグビー部総監督の山口良治氏を招いて鶴屋東館7Fホールで開かれた。演題は「信は力なり」熱き感動を求めて。いまさら紹介の必要もないほど著名な方だが、もう25年程前、1984年からのテレビ放映で好評を博したドラマ「スクール・ウォーズ」のモデルの熱血教師と言え、思い起こされる人も多いだろう。荒れ果てた高校のラグビー部の教師と生徒の葛藤。指導を受ける中で次第に目覚める生徒たち、そして日本一までの軌跡のドラマ。同校からはその後、平尾誠二、大八木淳史をはじめとする日本を代表する選手が輩立つが、最も華やかな日本一、そしてこれらのキラ星のような教員について、殆ど触れる事なく、むしろ創部当時に「俺はラグビーの日本代表選手」という姿勢で、生徒たちに接していた自分の拙さに気づいていく、そのあたりを愚直な



▲多士講座は広く一般参加も歓迎している

私はい前にハンドボールの女子日本代表の監督でソウル五輪を目指していたが、異なる競技とは言え、まるで素人に近い集団を熱意で育て上げるプロセスに興味を覚え、同氏の著書も購読した。その中で、荒れた学園の象徴的シーンでは、単車の教室の廊下の疾走や、生徒のシンナー吸引の部分があり、半端な荒廃ではない環境だった事を知った記憶がある。「多士講座」とは、「社会環境の変化が速い今日、済々黌高校同窓会としてその変化への対応、地域社会の支援に対する深謝の念の具現化」と同窓会で位置付けている。5年目を迎えた講座は、昨年の4回目の講師は浦島郁夫



▲我が黌以外の高校生も多数聴講

知事。その前年の3回目は姜尚中東大大学院教授だった。スポーツ関係は今月初めてだったが、時世の関心深いテーマを対象に公開講座としての企画に意欲的に取り組んでいる事を広く同窓生にも知って頂ければと思う。今回の同氏の話がタイムリーだと思うのは、2019年にラグビーのワールド・カップの日本開催が決まり、熊本県ラグビーフットボール協会もその開催地に立候補の意向。まさにその気運の盛り上げの緒につく時であるからだ。現在、私は熊本の元気につながるスポーツの振興として、サッカー、口アツソ熊本の「Jリーグ1部昇格」への県民運動に携わっているが、その意味からも、熊本の元気と青少年の健全育成につながるラグビー関係者の熱い思いの、ワールド・カップ熊本開催の実現に協力したいものだ。講演前には講師控室にご挨拶に伺い、終了後にはお礼を申し上げた際に握手をして頂いた。想像以上に分厚く大きな手に、同氏が口にした情熱を感じた。

育成委員長 井 薫 (S32卒、熊本県サッカー協会会長)

合 掌

済々黌関西地区同窓会の森武光会長(S26卒)現職が去る6月18日(金)午後、心不全のためご逝去されました。関西熊本人会連絡協議会長等、多くの要職を歴任され、剛快な人柄で人々に愛され、惜しまれながらの旅立でありました。毎年参加いただきました母養卒業式での笑顔が偲ばれます。ここに哀悼の誠を捧げ心からご冥福をお祈り申し上げます。

同窓会幹事長 新開 徹(S43卒)

エッセイ

戦後の教育改革と三綱領

或る日軍政官(ピーターセン)の学費視察があった。案の如く「大義」の意味を尋問された。その時杉原賢長は、通訳として随行した岡本亮介(元・済々黌教諭)と咄嗟に計って「グレート・ソーシャル・サービス」と答えられたところ、軍政官は心よく了解して、無事に視察を終了した。当時この視察は、学校存続の成否にも関わる重大事項であったから、末席を汚していた教師の一人として、はらはら固唾をのんで事無く視察の終わるのを待った極めて印象深い出来事で、職員会議に臨んで今日の成果報告の杉原賢長の穏やかな童顔と、ほっとした喜びの笑顔と声も忘れ難く、幸いにも軍政官への機知的名訳が成功したエピソードを紹介しておきたい。

済々黌歴史資料館用書面

同窓生 本田不二郎氏・金津安貞氏の記名文より